

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ24号

2019年6月



ベニシジミ (シジミチョウ科)

目次

- 1. 6月活動について 2
- 2. ムシプロだより 3
- 3. 自然の愉しみ方(初夏3) 5
- 4. 事務局より 9
- 今月の表紙 9

1. 6月8日（土）、9日（日）の活動について

6月8日（土）、9日（日）の活動の概要です。

① 作業の内容

ビオトープの雑草取りと雑木林の下草刈りを行います。

- 校舎南側の花壇を中心に雑草取りを行います。
- 7月の活動で宿泊する民宿庄屋が所有する雑木林の下草刈りを行います。



7月の活動の時に歩きやすいように下草を刈りとり、枝を斬り落としましょう。



昨年(2018年)の活動の様子。

② 観察の見どころ：『雨に唄えば』（あめにうたえば： *Singin' in the Rain*）

5月の下旬から空気が湿気をおびてきます。この湿気を待っている生き物が「モリアオガエル」です。産卵のために森から出てきたモリアオガエルを観察します。産卵は、池の水面の上に伸びている木の枝や水面から出ている水草の茎で行われます。目立つ場所で危険を顧みず、メスのまわりに数頭のオスが集まり木の枝に産卵する様子に感動します。

また、観察場所には、シュレーゲルアオガエルやカジカガエルも生息しています。モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルの鳴き声の違いやカジカガエルの美しい鳴き声を愉しむことができます。

雨の季節を喜び、唄う生き物たちを観察して、私たちも雨の季節を愉しみましょう！ ※雨具を忘れずに用意してください。



モリアオガエルの産卵



モリアオガエルのペア



カジカガエル

※カエルのほかに「ゲンゴロウ」「タガメ」「ゲンジボタル」など見ることができます。

2. ムシプロだより

遠藤 正久

タイトル： なかなか逃げないチョウ

連休を利用して上州高田山に登りました。低山ですが急な岩尾根が続きます。足元に気を配りながら歩いていると落ち葉の上でちらりと動く気配が。よく見ると「ミヤマセセリ」が「忍法木の葉隠れ」をして近付いてもとぼけています。至近距離でしっこくシャッターを押すと、「うん？もう見つかっている？」と感じたミヤマセセリは瞬く間に消え去ってしまいました。



忍法この葉隠れの術を使う「ミヤマセセリ」

山頂に着くと三角点の上にやたら態度のでかいチョウがいました。顔を近づけてもにらみ返すようにして羽を上下させ威嚇してくるのです。少し離れても近くに飛んできて羽をゆっくりと動かし、また三角点の上に戻ることを繰り返します。別なチョウがやってくと急上昇し空中戦を仕掛け追い払っていました。彼は恋の季節の最中だったのです。羽をボロボロにしながらか命がけで縄張りを守っていました。



近くに飛んできて「邪魔な奴だなー」と言わんばかりのヒオドシチョウ



三角点の上で縄張りを主張するヒオドシチョウ

「ヤママユ」の飼育を始めました。

千葉市若葉区の雑木林のクヌギの枝でヤママユの1 齢幼虫を見つけました。近くには卵の殻もありました。

繭をつくる様子や羽化の様子を観察するために1 頭を採集し飼育することにしました。6 月の中旬以降に繭を作り始めるので、順調に育てば7 月の活動の時に綺麗な緑色の繭をお見せできるでしょう。



5 月 5 日 見つけた時の様子



卵の殻、1 2 個ありました。



飼育の様子。

- 飼育ケースを立てて使用
- 直射日光の当たらない明るい窓辺に置く
- 脱皮して大きくなったら飼育ケースを大きいものに変える予定



5 月 1 2 日、脱皮して体が大きくなりました。

飼育ケースの中から、葉を食べる音が聞こえてきます。

3. 自然の愉しみ方（初夏3）

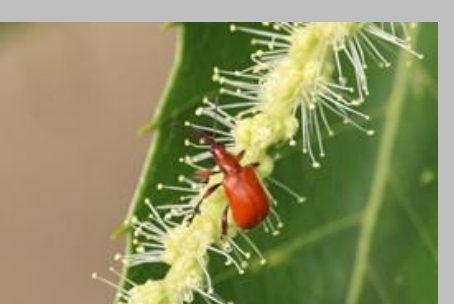
● 花を訪れるムシを愉しむ：クリの花食堂開店！

新緑の季節が終わると雑木林では、「花の食堂」が次々と開店する。中でも「クリの花食堂」がムシたちに大人気だ。近所にクリの木を見つけたらチェックしておこう！クリの花食堂は5月下旬から6月中旬までが開店期間だ。クリの花の香りに私も誘われる。
(写真・文 西野 孝法)

花

花を訪れるムシたち。





葉

葉を食べるムシたち。



幹

樹液

ムシが幹をかじることで樹液が出る。そしてムシが集まる



捕

クリを訪れたムシを捕まえて食べるスズメバチ。



クリを訪れたムシを観察していたら、スズメバチが木にぶら下がっていた。後ろ足で体を支え、前足と中足で捕らえたムシ（コメツキムシの仲間）を抱えていた。このような姿を見たのは初めてだ！ 器用さに驚いた。

スズメバチは、やはり最強のハンターである。



4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2019年6月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

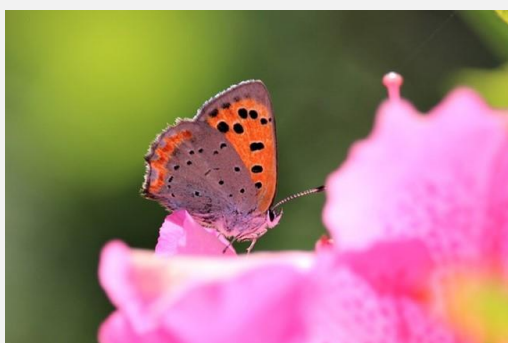
編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：harukan@ac.auone-net.jp

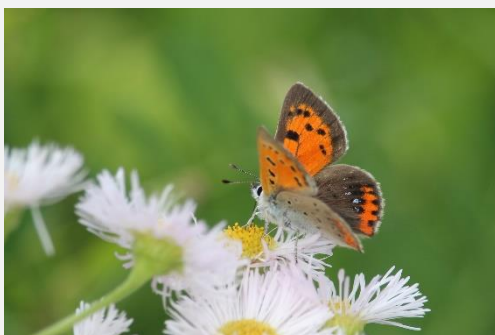
今月の表紙



ベニシジミ (シジミチョウ科)

庭、公園、田んぼのあぜ道、原っぱなどで見られる最も身近な存在だ。

ツツジの花を訪れるムシを探していたところ花びらに止まって日光浴をしている個体に出会った。体がツツジの花の色に染まりとても美しかった。



(写真・文 西野 孝法)